

# 長崎市新庁舎 議会フロアにだけ「喫煙室」 医師会から反対受け再検討へ

7/21(木) 11:31 配信 15  



来年1月に開庁を予定する長崎市の新庁舎（地上19階、地下1階）建設を巡り、市議会が5階議会フロア内への喫煙室設置を内部の検討会で決めたことに、反対の声が上がっている。市医師会（松元定次会長）と県保険医協会（本田孝也会長）は20日、市と市議会に撤回や中止を求める要望書をそれぞれ提出。こうした声を受け、議会内で再検討が始まった模様だ。

市議会事務局などによると、6月17日に各会派の議員で構成する議長の諮問機関「新市庁舎建設に係る議会機能整備検討会」で、喫煙室設置について協議。「喫煙する人の権利もある」「完全な分煙対策ができるのか」と賛否が分かれ「持ち帰って検討したい」との意見も出た。だが、新庁舎は11月末完成予定で、工期が差し迫っていることなどを理由に設置の方針を決めたという。

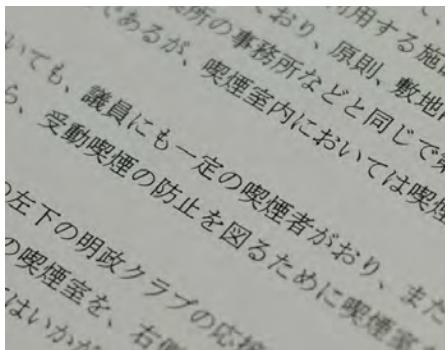
受動喫煙対策を強化する改正健康増進法は、行政機関の庁舎は敷地内禁煙の「第1種施設」と規定。それ以外の多数の人が利用する施設は「第2種施設」として原則屋内禁煙だが、喫煙専用室を設置できるとする。市は2019年的一部施行を受け、庁舎内の喫煙所を撤去。現在の議会棟は第2種施設に当たるとして20年に専用室を設けた。

同法は「施設利用者が通常立ち入らない場所」などの条件を満たせば、第1種施設でも特定屋外喫煙場所の設置を認めているが、新庁舎では「適地がない」（市大型事業推進室）として設置しない。一方、議会フロアについて市は「他の行政フロアと機能が異なる」などとして「技術的な課題や費用の問題が解決できる場合は基本的に市議会の意向を尊重する」との立場だ。

市医師会は「市庁舎内での禁煙を求める中で5階のみ喫煙可という計画自体、市民の理解は到底得られない」と撤回を要望。県保険医協会は「市民の健康を受動喫煙の危害から守ることを最優先に考え、行動すべき」と建物内全面禁煙を求めている。日本禁煙学会も7月12日に再考を求める要望書を提出している。

# 長崎市議会喫煙室 「議員にも喫煙者」提案、議事録作成せず

7/21(木) 12:10 配信 23  



「議員にも一定の喫煙者がいる」などと市議会フロアへの喫煙室設置の提案理由が記された市議の検討会の協議結果報告書＝長崎市で2022年7月21日午前10時34分、樋口岳大撮影

建設中の長崎市新庁舎5階の議会フロアに喫煙室を設置することを市議の検討会が非公開会合で決めた問題で、喫煙室設置は市議が「議員にも一定の喫煙者がいる」などの理由で提案していたことが、毎日新聞が公文書開示請求で入手した市議会の協議結果報告書で判明した。ただ、議会側は「議会内部の協議」として議事録を作成しておらず、意思決定までの詳しい議論のプロセスを記録から知ることはできない。

議長の諮問機関「新市庁舎建設に係る議会機能整備検討会」が6月17日に開かれ、議会からは一人会派を除く6会派の市議11人、市側からは日向淳一郎企画財政部長らが出席した。

報告書によると、座長の毎熊政直市議が「議員にも一定の喫煙者がおり、また、議会にご用のある喫煙者もいることから、受動喫煙の防止を図るために喫煙室を設置してはどうか」と提案。「一部会派から反対意見もあった」というが、法的に議会フロアに設置可能▽喫煙者にも喫煙する権利がある▽今回決定しないと今後の工期に影響を及ぼす——などの理由で、喫煙室2カ所を設置することを決めた。

ただ、議会事務局によると、「内部の協議で、議事録作成のルールがない」として議事録を作成しておらず、出席市議の賛否の意思表示やその理由などの具体的な発言内容を記録で確かめることはできない。

喫煙室設置を巡っては、日本禁煙学会や市医師会が撤回を要望。県内の医師と歯科医師計1890人でつくる県保険医協会も20日、「市議会の施設は公費で運営され、公共性が極めて高い」として、田上富久市長と深堀義昭議長宛てに設置中止を要望した。【樋口岳大】

# 長崎市役所新庁舎の喫煙室設置「撤回を」 市医師会が要望書提出

社会 | 速報 | 長崎

毎日新聞 | 2022/7/20 17:57 (最終更新 7/20 17:57) 455文字



長崎市医師会の建物＝同市で2022年7月20日午後5時25分、樋口岳大撮影

建設中の長崎市役所新庁舎5階の市議会フロアに喫煙室を設置することを市議の検討会が非公開会合で決めた問題で、市医師会（松元定次会長）は20日、田上富久市長と深堀義昭議長宛てに撤回を求める要望書を提出した。「議会フロアは市民が行政に参加し、市民に開かれた公共の場。市民の理解は到底得られない」と訴えた。

受動喫煙防止を目的とした改正健康増進法は行政機関の庁舎での喫煙を禁じ、市は新庁舎の行政フロアを禁煙とする一方、議会フロアは「機能が異なる」として喫煙室が設置できると説明している。

これに対し、長崎市の医師950人でつくる市医師会は「多くの市民が訪れる新庁舎の中に喫煙室を設置するのは、市民の禁煙や健康増進を推進する立場の市としていかがなものか」と指摘。「市政に関わる人たちが、率先して禁煙に取り組む姿勢をわかりやすく示すことが求められている。時代に逆行すべきではない」と訴えた。

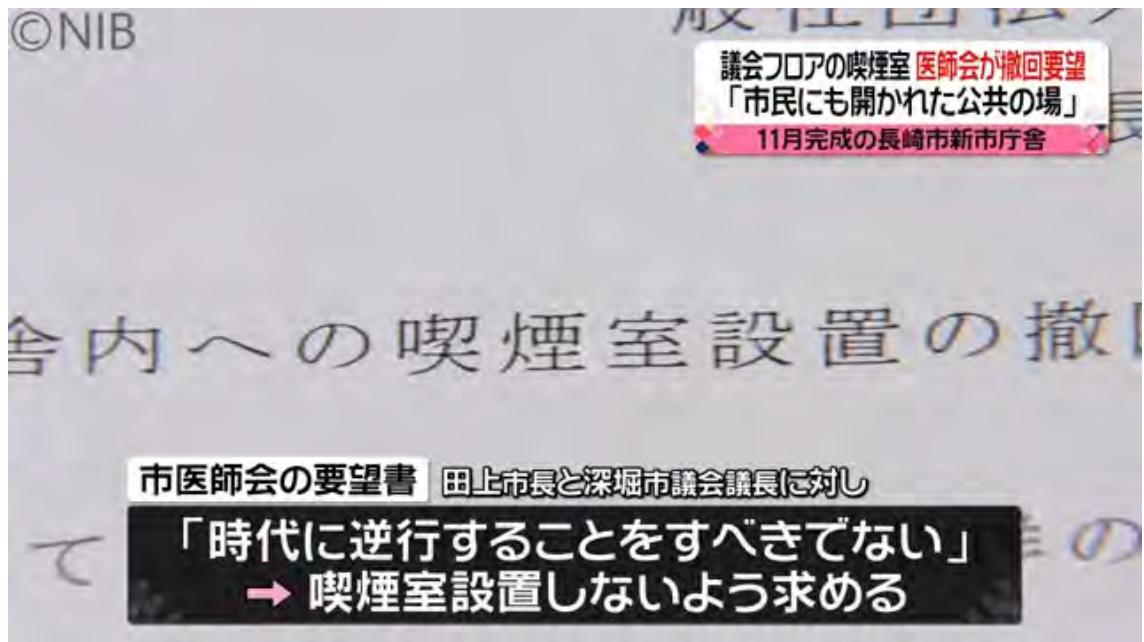
議会フロアの喫煙室設置は6月、市議で構成する検討会が非公開会合で決定。日本禁煙学会も市議会と市に撤回を要望している。【高橋広之】

# 【長崎】長崎市新市庁舎 議会フロアの「喫煙室」 医師会が撤回を要望

7/20(水) 21:03 配信 42  

NiB長崎国際テレビ

©NIB



NiB長崎国際テレビ

長崎市が建設中の新しい市庁舎の市議会フロアに喫煙室を設置する案について、長崎市医師会が20日撤回するよう求める要望書を提出した。

今年11月の完成を目指し建設が進む長崎市の新しい市庁舎。長崎市などによると6月開かれた議会の検討会で、市議から議会フロアである5階への喫煙室設置が提案されて決まり、市側に伝えられたという。市医師会が田上長崎市長と深堀市議会議長宛てた要望書では、「市議会フロアは市民が行政に参加する重要な場で市民にも開かれた公共の場所」と指摘。「時代に逆行することをすべきでない」として喫煙室を設置しないよう求め、市と市議会側の考えを回答するよう要請した。喫煙室の設置を巡っては日本禁煙学会も全面禁煙化を求める要望書を提出している。

13

5

8

◎記事に関する報告

 学びがある

 わかりやすい  新しい視点

最終更新: 7/20(水) 21:03

長崎国際テレビ